



イギリスとアイルランドの昔話

石井桃子 編・訳
J・D・バトン 画

福音館書店 1981年 1600円

イギリスの昔話22編、アイルランドの昔話8編を収めた昔話集です。イギリスからは「ちいちゃいちゃい」「ふしぎなお客」などの子どもの大好きな怖い話、「三びきの子ブタ」「ジャックとマメの木」「三びきのクマの話」などのよく知られた話、アイルランドからは「元気な仕立て屋」「たまごのカラの酒づくり」「白いマス」などの妖精やばけものがでてくる不思議な話が集められています。他にも笑い話、ロマンチックな話など内容はバラエティに富んでいます。

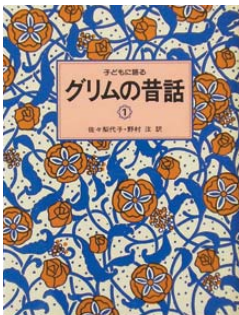
19世紀に出版されたジェームズ・ジェイコブスの『イギリス昔話集』を中心に訳されており、雰囲気のあるJ・D・バトンの挿し絵も、この本からのものです。美しく、簡潔でわかりやすい日本語の訳文は、なめらかで耳に心地よく響きます。ぜひ子ども達に声に出して読んであげてください。昔話のおもしろさ、力強さを十分に味わうことができます。おはなし会にもよく使われる1冊です。2002年に福音館文庫でも出版されています。



金のがちょうのほんー四つのむかしばなしー
レズリー・ブルック 文・画
瀬田貞二・松瀬七織 訳

福音館書店 1980年 1800円

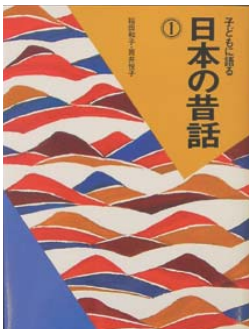
「金のがちょう」「三びきのくま」「三びきのこぶた」「親ゆびトム」というイギリスの有名な昔話が、4編おさめられています。ふんだんに盛り込まれた緻密で写実的な絵が、お話の世界を見事に表現しています。



子どもに語るグリムの昔話 1
グリム 〔作〕
佐々梨代子・野村 洵訳

こぐま社 1990年 1600円

長年子どもにお話を語ってきた語り手とドイツ文学研究者が、数あるグリムのお話の中から、子どもに語るのに向くものを選んだ昔話集です。「おおかみと七ひきの子やぎ」など12編がおさめられています。巻末にはそれぞれのお話について、語るための解説がついています。シリーズは全6巻です。



子どもに語る日本の昔話1
稲田和子・筒井悦子 再話

こぐま社 1995年 1600円

「舌切りすずめ」「こぶとりじい」「大工と鬼六」「つる女房」など、子どもが喜ぶ25編の昔話がおさめられています。方言の味わいを適度に残した文章は、口に出して読みやすく、子どもにもよくわかります。巻末にはそれぞれのお話について、解説がついています。シリーズは全3巻です。



子どもに聞かせる世界の民話

矢崎源九郎 編

実業之日本社 1964年 2621円

81の国・民族から、それぞれ性質の違うお話を1つずつ集めた民話集です。「けものや鳥や虫が、でてきて、ちえをはたらかせる話」など8章からなります。それぞれのお話に、そのお話や国についての解説がついています。



なまくらトック

東京子ども図書館 編

東京子ども図書館 1998年 1500円

自分の食べ物を探すのも面倒くさいトックが、何もしないで食事にありつくボルネオの昔話など、9つのお話が入っています。「おはなしのろうそく」3・4を合本した愛蔵版で、子どもたち自身が読めるように、活字が大きくなりました。シリーズには「エパミナングス」などがあります。